

S・BATTLE 空手 BATTLE ルール

試合時間 ●S・BATTLE 本戦 選抜選手
・1ラウンド 2分 3ラウンド インターバル 1分 (オールラウンドマストシステム、延長戦無し、引分け無し)
*グローブ無 レッグサポーター無 試合時上半身裸で帯は締めた状態、入場時は、道着姿。

●オープニングバトル 出場選手 (成人クラス・オyajバトル・ジュニアバトル・全クラス共通)
・1ラウンド 2分 2ラウンド インターバル 1分 延長戦 1分 (延長戦マストシステム、引分け無し)
*成人選手グローブ無 レッグサポーター無 *オyajバトル グローブ レッグサポーター有 *ジュニアバトル ヘッドギア グローブ レッグサポーター有

セコンド 1選手につき 2名までとする

契約体重 ・体重は双方の選手、その所属団体と主催者側で協議の上、3者契約で決定をする

防具 ・ファールカップは、選手各自が用意して試合時に着用し、その他の防具は着用しない
・拳へのテーピングは、基本禁止とし出血の多い場合に限り主催者チェック後許可をします
・アングルサポーター、テーピング、などは、主催者チェックの許可を受けてから使用する

塗布物 ・試合時、身体へ一切の塗布物を禁止します(滑る原因となる物) * 試合時上半身裸での試合可能

有効技 ・反則箇所を除く、すべてのカ所への打撃は有効とする
・その他は、試合当日ルールミーティングにて

反則 ・顔面、喉、後頭部、頭突き、金的、背後からや、倒れた相手への攻撃、急所への攻撃を反則とする
・掛け、首相撲、掴んでからの攻撃は反則とする
・接近戦になり関節技で拘束しての攻撃や投げたり押し倒す事は、反則とする
・着衣などを拘束しての攻撃は、反則とする
・コンタクトなど試合時に危険とみなす物を着用して試合をすることを反則とする
・試合中消極的で逃げ回ってばかりで攻撃をしていないと反則とする
・レフェリーの指示に従わない場合は、反則とする
・その他は、試合当日ルールミーティングにて

反則カード ・軽度の反則行為で口頭注意、
・反則 1回でイエローカード1枚 減点1
・度重なる反則や重度な反則 レッドカード1枚 減点2 とする
・悪質な反則は、1回の反則でもレフェリーの判断で失格とする

判定基準 ●1レフェリー 3ジャッジ 1ラウンド 10ポイント オールラウンド減点方式
《判定基準①》 有効打撃ポイント 《判定基準②》 試合中の手数とアグレッシブ差

・1ポイント	(技有りと同等) ダウン一歩手前の強いダメージが残る攻撃を受けた時 イエローカードの宣告を受けた時
・2ポイント	(一本と同等) 有効技により倒れた時、ダウンした時 レッドカードの宣告を受けた時

・ダメージの残る強い打撃を有効打とし細かい効いていない攻撃は、ポイントにはならないものとする
・正当な攻撃で負傷をし、ドクターストップとなった場合は、その選手を敗者とする
・反則攻撃で負傷し、ドクターストップとなった場合は、その選手を反則勝ちとする

その他 ・選手とセコンドは、必ず試合当日のルールミーティングとリハーサル、エンディングに参加する事
・選手は、感染症の無い事を証明する血液検査書類を主催者に提出する事
・選手は、試合日より1ヶ月間前まで、一切の格闘技試合の出場を禁止とする事
・失格となった場合は、ファイトマネーの没収と対戦相手側のすべての経費、主催者側の損害賠償を支払う事
・試合時の着衣は、破損しても試合継続できるように予備を用意しておく事
・反則によりレフェリーが選手に対しインターバルが必要と判断した時は、回復時間を与え再開する
・セコンドからのタオル投入時は、試合放棄とする
・契約体重オーバーなど試合前に不合理が生じた場合、双方の協議の上、ハンデ等を与え試合を行い
協議が成立しない場合は、その選手を失格とする

備考 ・スポンサーの方の協力が有っての活躍の場です、勝利者賞授与時、写真撮影等心良い形で行って下さい
・チケット販売、会場の盛り上げ、観客の方へのファンサービス等、良識有る範囲で自由に行って下さい

S・BATTLE キックボクシング BATTLE ルール

- 試合時間** ●S・BATTLE 本戦 プロ選手
・1ラウンド 3分 3ラウンド インターバル 1分 (オールラウンドマストシステム、延長戦無し、引分け無し)
* 50kg以下8oz 60kg以下10oz 70kg以上12oz使用
●オープニングバトル 出場選手 (成人クラス・オヤジバトル・ジュニアバトル・全クラス共通)
・1ラウンド 2分 2ラウンド インターバル 1分 延長戦 1分 (延長戦マストシステム、引分け無し)
* 成人=16oz レッグサポーター無 キッズ=子供用8oz レッグサポーター有 金網ヘッドギア有
- セコンド** 1選手につき 2名までとする
- 契約体重** ・体重は双方の選手、その所属団体と主催者側で協議の上、3者契約で決定をする
- 防具** ・マウスピース、ファールカップ、バンテージは、選手各自が用意して試合時に着用する
・拳へのバンテージは、テーピングとバンテージ以外の異物を巻く事を禁止する
・グローブは、主催者が用意したグローブをバンテージチェック終了後着用し使用する
・アングルサポーター、テーピング、などは、バンテージチェック時に許可を受けてから使用する
- 塗布物** ・試合前のタイオイルは、許可するが塗布したままは禁止とし、試合時には拭き取ってから試合をする
・ワセリンは、試合前の塗布、インターバル中の塗布を許可する
- 有効技** ・反則箇所を除く、すべてのカ所への打撃は有効とする (ヒジ攻撃は、協議契約の上)
・首相撲や掴んでからの攻撃は、ワンホールディング、ワンアクションまで有効とする
・その他は、試合当日ルールミーティングにて
- 反則** ・金的、喉、後頭部、頭突き、背後からや、倒れた相手への攻撃、急所への攻撃を反則とする
・首相撲や掴んでからの攻撃で、ワンホールディング、ワンアクション以上の攻撃を反則とする
・首相撲から関節技で拘束しての攻撃や投げたり押し倒す事は、反則とする
・グローブや着衣などを拘束しての攻撃は、反則とする
・コンタクトなど試合時に危険とみなす物を着用して試合をするを反則とする
・試合中消極的で逃げ回ってばかりで攻撃をしていないと反則とする
・レフェリーの指示に従わない場合は、反則とする
・その他は、試合当日ルールミーティングにて
- 反則カード** ・軽度の反則行為で口頭注意、
・反則 1回でイエローカード1枚 減点1
・度重なる反則や重度な反則 レッドカード1枚 減点2 とする
・悪質な反則は、1回の反則でもレフェリーの判断で失格とする
- 判定基準** ●1レフェリー 3ジャッジ 1ラウンド 10ポイント オールラウンド減点方式
《判定基準①》 有効な攻撃のダメージ 《判定基準②》 試合中の手数とアグレッシブ差
・1ポイント=ダウン一步手前の強いダメージが残る攻撃を受けた時、イエローカードの宣告を受けた時
・2ポイント=ダウンした時、レッドカードの宣告を受けた時
・ダメージの残る強い攻撃をポイントとしダメージの無い細かい攻撃は、ポイントにはならない
・正当な攻撃で負傷をし、ドクターストップとなった場合は、その選手を敗者とする
・反則攻撃で負傷し、ドクターストップとなった場合は、その選手を反則勝ちとする
- その他** ・選手とセコンドは、必ず試合当日のルールミーティングとリハーサル、エンディングに参加する事
・選手は、感染症の無い事を証明する血液検査書類を主催者に提出する事
・選手は、試合日より40日前までにKO負けした選手は、出場できない
・失格となった場合は、ファイトマネーの没収と対戦相手側のすべての経費、主催者側の損害賠償を支払う事
・試合時の着衣は、破損しても試合継続できるように予備を用意しておく事、予備が無い場合は失格とする
・反則によりレフェリーが選手に対しインターバルが必要と判断した時は、回復時間を与え再開する
・セコンドからのタオル投入時は、試合放棄とする
・契約体重オーバーなど試合前に不合理が生じた場合、双方の協議の上、ハンデ等を与え試合を行い協議が成立しない場合は、その選手を失格とする
- 備考** ・スポンサーの方の協力が有っての活躍の場です、勝利者賞授与時、写真撮影等心良い形で行って下さい
・チケット販売、会場の盛り上げ、観客の方へのファンサービス等、良識有る範囲で自由に行って下さい

S・BATTLE MMA BATTLE ルール

- 試合時間**
- S・BATTLE 本戦 プロ選手
 - ・1ラウンド 3分 3ラウンド インターバル 1分 (オールラウンドマストシステム、延長戦無し、引分け無し)
 - * 主催者準備オープンフィンガー使用
 - オープニングバトル 出場選手 (成人クラス・オyajバトル・ジュニアバトル・全クラス共通)
 - ・1ラウンド 2分 2ラウンド インターバル 1分 延長戦 1分 (延長戦マストシステム、引分け無し)
 - * 主催者準備オープンフィンガー使用
- セコンド** 1選手につき 2名までとする
- 契約体重** ・体重は双方の選手、その所属団体と主催者側で協議の上、3者契約で決定をする
- 防具**
- ・マウスピース、ファールカップ、バンテージは、選手各自が用意して試合時に着用する
 - ・拳へのバンテージは、テーピングとバンテージ以外の異物を巻く事を禁止する
 - ・オープンフィンガーは、主催者が用意したグローブをバンテージチェック終了後着用し使用する
 - ・アングルサポーター、テーピング、などは、バンテージチェック時に許可を受けてから使用する
- 塗布物**
- ・試合前のタイオイル等の塗布物は、禁止
 - ・ワセリンは、顔面のTゾーンに試合前にだけ少量の塗布を許可する
- 有効技**
- ・反則箇所を除く、すべてのカ所への打撃は有効とする (ヒジ攻撃は、協議契約の上)
 - ・テイクダウンしてから30秒間、全ての寝技、関節技を有効とする
 - ・その他は、試合当日ルールミーティングにて
- 反則**
- ・金的、喉、後頭部、頭突き、目突き、指を捕まえての攻撃、背後からの攻撃、急所への攻撃を反則とする
 - ・テイクダウン後の顔面への膝蹴り、ヒジ打ちを反則とする
 - ・グローブや着衣などを拘束しての攻撃は、反則とする
 - ・コンタクトなど試合時に危険とみなす物を着用して試合をすることを反則とする
 - ・試合中消極的で逃げ回ってばかりで攻撃をしていないと反則とする
 - ・レフェリーの指示に従わない場合は、反則とする
 - ・その他は、試合当日ルールミーティングにて
- 反則カード**
- ・軽度の反則行為で口頭注意、
 - ・反則 1回でイエローカード1枚 減点1
 - ・度重なる反則や重度な反則 レッドカード1枚 減点2 とする
 - ・悪質な反則は、1回の反則でもレフェリーの判断で失格とする
- 判定基準**
- 1レフェリー 3ジャッジ 1ラウンド 10ポイント オールラウンド減点方式
 - 《判定基準①》 有効な攻撃のダメージ 《判定基準②》 試合中の手数とアグレッシブ差
 - ・1ポイント=ダウン一步手前の強いダメージが残る攻撃を受けた時、イエローカードの宣告を受けた時
 - ・2ポイント=ダウンした時、レッドカードの宣告を受けた時
 - ・ダメージの残る強い攻撃をポイントとしダメージの無い攻撃は、ポイントにはならない
 - ・正当な攻撃で負傷をし、ドクターストップとなった場合は、その選手を敗者とする
 - ・反則攻撃で負傷し、ドクターストップとなった場合は、その選手を反則勝ちとする
- その他**
- ・選手とセコンドは、必ず試合当日のルールミーティングとリハーサル、エンディングに参加する事
 - ・選手は、感染症の無い事を証明する血液検査書類を主催者に提出する事
 - ・選手は、試合日より40日前までにKO負けした選手は、出場できない
 - ・失格となった場合は、ファイトマネーの没収と対戦相手側のすべての経費、主催者側の損害賠償を支払う事
 - ・試合時の着衣は、破損しても試合継続できるように予備を用意しておく事、予備が無い場合は失格とする
 - ・反則によりレフェリーが選手に対しインターバルが必要と判断した時は、回復時間を与え再開する
 - ・セコンドからのタオル投入時は、試合放棄とする
 - ・契約体重オーバーなど試合前に不合理が生じた場合、双方の協議の上、ハンデ等を与え試合を行い協議が成立しない場合は、その選手を失格とする
- 備考**
- ・スポンサーの方の協力が有っての活躍の場です、勝利者賞授与時、写真撮影等心良い形で行って下さい
 - ・チケット販売、会場の盛り上げ、観客の方へのファンサービス等、良識有る範囲で自由に行って下さい